



全国安全週間

本週間 7月1日～7日
(準備期間 6月1日～30日)

スローガン 多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

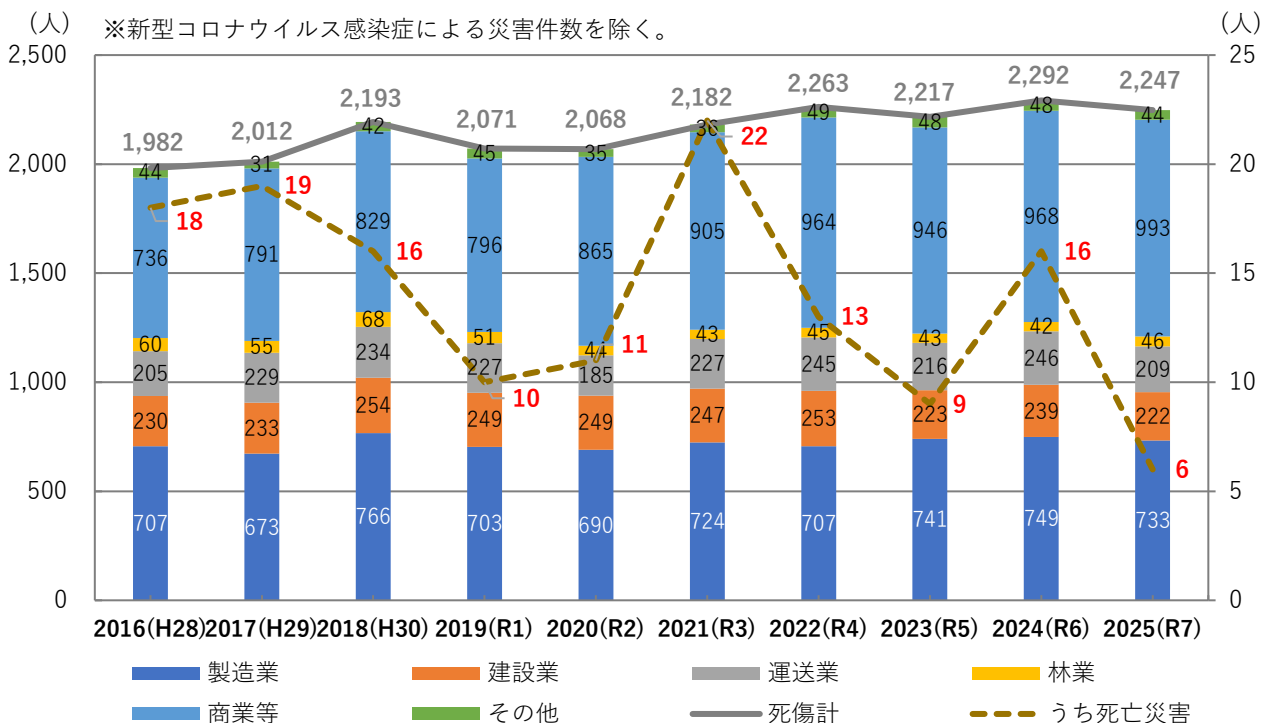
労働災害をなくし、労働者の安全と健康を確保して働ける環境をつくるためには、行政・事業者・労働者など関係者それぞれが役割を果たすことが重要です。

今年で99回を迎える全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図るうえで、安全に対する啓発と職場の安全活動に取り組む週間です。

労働組合の立場からも、労働災害防止に向けた再点検を図るなど、安全活動に積極的に取り組みましょう。

岐阜県内の死傷災害の推移（休業4日以上）

(岐阜労働局の資料より作成)



岐阜労働局の公表資料によると、2025年（令和7年）の岐阜県内の労働災害について、休業4日以上死傷災害は2,247人（前年比45人減）、うち死亡者数は6人（前年比10人減）となりました。あらゆる職場において安全教育・意識啓発を徹底するとともに、安全で健康に働ける職場環境づくりが求められています。



岐阜労働局HP



連合エコライフ

2026 ピークカットアクション夏

連合は、一人ひとりができるところから環境を考えた行動を心がけ、持続可能な社会をつくる「連合エコライフ」運動を推進しています。「連合エコライフ ピークカットアクション2026夏」では、6月～9月を取り組み期間、7月・8月を強化月間とし、電力消費量のピークとなる夏季の節電の取り組みを呼びかけています。中東情勢の緊迫化による燃料調達の状況や猛暑などエネルギー需要の高まりを受け、ますます節電が求められます。熱中症予防にも注意しながら、環境にやさしいエコライフを進めていきましょう。